

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年8月15日(2022.8.15)

【国際公開番号】WO2019/014014
 【公表番号】特表2020-527373(P2020-527373A)
 【公表日】令和2年9月10日(2020.9.10)
 【出願番号】特願2019-561965(P2019-561965)
 【国際特許分類】
 A 6 1 M 5/142(2006.01)
 【F I】
 A 6 1 M 5/142522

10

【誤訳訂正書】
 【提出日】令和4年8月3日(2022.8.3)

【誤訳訂正1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0015
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】

20

【0015】

更に別の形態では、右巻きねじりばねと左巻きねじりばねは、単一の2段階ねじりばねへと共に一体化されてもよい。

【誤訳訂正2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0029
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0029】

挿入/後退機構12は、右巻きねじりばね130と左巻きねじりばね132とを含む二重ねじりばねシステム128を含む。いくつかの構成では、右巻きねじりばね130と左巻きねじりばね132は、単一の2段階ねじりばねへと共に一体化されている。単一の2段階ねじりばねは、簡単さ、部品点数低減、及び製造コスト低減という利点を提供する。いくつかの構成では、後退ハブ102は、外部表面144と、外部表面から径方向外側に延びる予荷重切欠部146(図3A~図3Cに示される)とを含み、(図2A~図2Cに示すように)右巻きねじりばね130及び左巻きねじりばね132のうちの1つは、後退ハブ102の予荷重切欠部146の遠位側の後退ハブ102の外部表面144を包囲し、右巻きねじりばね130及び左巻きねじりばね132のうちのもう一方は、後退ハブ102の予荷重切欠部146の近位側の後退ハブ102の外部表面144を包囲する。右巻きねじりばね130及び/又は左巻きねじりばね132に対する予荷重は、どの予荷重切欠部146に右巻きねじりばね130及び/又は左巻きねじりばね132が接続されるかに応じて変更することができる。二重ねじりばねシステム128は、後退ハブ102と、挿入ハブ110と、挿入/後退機構ハウジング124とに動作的に接続されている。起動トリガー134は二重ねじりばねシステムに動作的に接続されている。

30

40

50